

消費者がウェブインタビューを支持する理由は、 コロナだけではないようです！



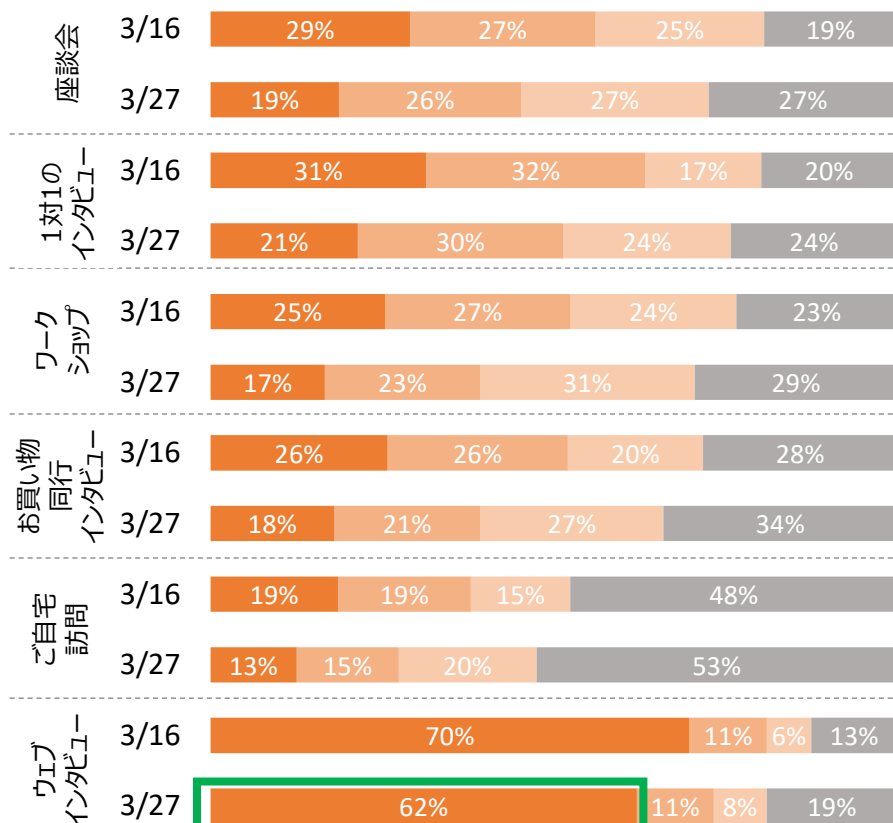
Ipsos UUでは、新型コロナウイルス流行の影響により、調査手法に関して日々お問合せを頂いている中、[シンジケートコミュニティ](#)での自主調査・第2弾を実施しました！

本調査では、調査の主催者ではなく、ご参加していただく消費者の皆さまに、手法別の参加意向を伺っています。

やはり、前回同様、ウェブインタビューへの参加意向は他手法に比べ断トツで高いという結果でした！

ウェブインタビューが支持される理由は、コロナ感染の心配だけではなく、従来型の対面手法に比べ、より“生活者”に寄り添った自然なかたちで行えることにあるようです。これを機会に、オンラインへの移行を検討してみませんか？

＜調査結果の抜粋＞



■ 前回よりも協力率が全体的に下がったのは、小池都知事の会見などによる、コロナ状況の緊迫化が影響していると考えられる

■ その中でも、Webインタビューへの協力率は、前回同様に他手法より圧倒的に高い

■ 今でも参加したい

■ 今でも感染対策がとられているなら参加したい

■ 新型コロナウイルスの流行が終息したら参加したい

■ 参加したくない

--- 1対1のインタビューや座談会への協力率の約2倍

消費者の声を拾っていくと... “緊張せずリラックスして臨める”、“普段の生活スタイルやリズムを邪魔しない”、“移動時間/交通費のストレス/負担が減る”といった声が多数挙がりました。

利便性はもちろんのこと、心理的な負荷/負担がないことが、消費者にとって大きなメリットのようです！

リアルな環境でリアルな声を拾うアプローチとして、コロナ収束後も、標準的な手法となっていくのではないのでしょうか。

コロナの心配がいらない点はもちろんけど・・・ WEBインタビューのどこが魅力？(OA抜粋)



“シャイな日本人なので対面のインタビューにはちょっとひきますが、ウェブインタビューなら気楽に自宅で対応できるので、不安要素が軽減されます。…座談会にしても、初めて会った人たちばかりなので、その中でお話するのは、かなりきびしいモノがあります。

相手が目の前にいるとなかなか言い辛いことも、ウェブインタビューなら言えるような気がします。



対面で人と長時間接触することは感染するリスクを増大させるので、できれば避けたいところです。ウェブインタビューであれば、**感染のリスクを気にすることなく参加できます。また、出かけていくより、自分の時間の都合がつけやすいのも魅力**だと思います。

ウェブインタビューだと、**移動時間がかからず遅刻の心配も不要で、交通費もかからない**点にメリットを感じます。対面での不安はありませんが、座談会はあるようなメンバーが集まるかわからず、所要時間も長めなので気疲れが多そうなイメージです。ウェブインタビューだとこれらの**心配や気疲れなくリラックスして行え**そうです。

<調査概要>

調査目的： 新型コロナウイルス流行の影響下での、定性調査手法別の協力意向を把握する

対象者： シンジケートコミュニティに参加する20代-60代男女528名

実施日： 3/26(木)～3/28(土)

ぜひこの機会にイプソスUUのデジタル定性サービスをお気軽にお試ください！



詳細につきましては、担当までお問合せ下さい

イプソス株式会社 | <http://www.ipsos.jp>

担当：野口 junko.noguchi@ipsos.com | 樋口 takayuki.Higuchi@ipsos.com